

## 事例 5 我が国の伝統音楽を扱った表現と鑑賞の関連事例

○学年 第3学年

○領域・分野 A表現(1)歌唱 ア、イ(イ)、ウ(ア) B鑑賞ア(ア)(イ)、イ(イ)

○事例のポイント

- ①生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素は、【音色、旋律】である。
- ②ICT端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。
- ③鑑賞では長唄の歌唱表現から学んだり考えたりしたことを生かして、音楽のよさや美しさを味わう学習指導を展開する。
- ④我が国の伝統音楽が、題材の学習を通して自分にとってどう価値が変容したかについて考えさせることで、音楽的な見方・考え方を働かせた学習指導を展開する。

### 1 題材名 歌舞伎の魅力味わおう（4時間扱い）

### 2 題材について

#### (1) 生徒の実態

生徒は、合唱や器楽で表現することや音楽を鑑賞することなどの様々な活動に興味をもっている。そして、それらに必要な知識や技能を得たいと考えており、授業に対して意欲的に取り組んでいる。4月からは「花」の二重唱に取り組み、少人数での重唱に困惑しながらも、一人一人が言葉の特性を生かして表現の工夫をしながら、歌唱をすることができた。これまでの我が国の伝統音楽の学習については、箏曲における表現や鑑賞を通して、音楽を形づくっている要素の特徴を感じ取り、歌と箏のそれぞれの特有の特徴と関連付け、箏曲に見られる拍、間と音楽における働きと関わらせて理解して表現したりや鑑賞しながら、箏曲のよさや美しさを味わう学習活動を行っている。

#### (2) 題材について

本題材では、我が国の伝統的な芸能である「歌舞伎」を取り上げ、歌唱と鑑賞を関連付け扱う。我が国の伝統音楽に親しみ、音楽に対する理解を深めるために、長唄をうたう活動を行い、長唄にふさわしい発声や言葉の発音、身体の使い方はどのようなものかを考え、工夫して音楽表現をすることにつなげていく。また、歌舞伎の登場人物の心情を理解し、場面にあった発声やうたい方などを工夫して音楽表現をすることによって、歌舞伎における長唄の役割や特徴をより深く理解させていく。加えて、歌唱活動と鑑賞活動を効果的に行い、音楽表現と鑑賞の両者が相乗的に高まり深まっていくように工夫して指導していく。歌舞伎の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解させ、歌舞伎のよさや魅力を味わわせていく。

#### (3) 学習指導要領との関連について

本題材は、学習指導要領A表現(1)歌唱 ア、イ(イ)、ウ(ア)とB鑑賞ア(ア)(イ)、イ(イ)、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素として「音色」「旋律」を指導するものとする。

### 3 題材の目標

- (1) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりや、曲想と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 <知識及び技能>
- (2) 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫するかについて思いや意図をもつとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠及び生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 音色、旋律によって生み出される雰囲気や歌舞伎の特徴とその背景となる文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにする。 <学びに向かう力、人間性等>

#### 4 教材について

##### (1) 使用する楽曲について

長唄「勸進帳」 歌舞伎「勸進帳」 三世 並木五瓶 作詞／ 四世 杵屋六三郎 作曲

長唄①「旅の衣は篠かけの露けき袖やしおるらん」の部分

謡ガカリの部分で、発声と言葉の特徴を主に聴き取り、最初に扱う教材として適していると考え選曲した。

長唄②「これよこの ～ 逢坂の山かくす」の部分

安宅の関所に荷物持ちに変装した義経が、山伏姿の弁慶と4人の家来を従えて到着する場面の音楽。生徒が堂々と豪快に声を出してうたいやすいと考え選曲した。

##### (2) ICT環境（生徒用 ICT端末）

本題材ではICT端末を用いて、指定のURL（QRコード）の動画を視聴し、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。

#### 5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕との関連及び具体的な学習活動


指導事項	歌唱ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。 歌唱イ(イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり 歌唱ウ(ア)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 鑑賞ア(ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 鑑賞イ(イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり
〔共通事項〕	ア 音色、旋律
	イ 拍、拍子、間
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長唄の声や三味線の音色の特徴を感じ取り、それらの特徴を理解し、表現したり鑑賞したりする。</li> <li>・長唄の声や三味線の旋律の特徴や、間の緩急の対比を感じ取り、それらの特徴を理解し、表現したり鑑賞したりする。</li> </ul>

#### 6 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p><b>知</b>①声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。(歌唱)</p> <p><b>技</b> 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。(歌唱)</p> <p><b>知</b>②曲想と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。(鑑賞)</p>	<p><b>思</b>①音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫するかについて思いや意図をもっている。(歌唱)</p> <p><b>思</b>②音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠及び生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(鑑賞)</p>	<p><b>態</b> 音色、旋律によって生み出される雰囲気や歌舞伎の特徴とその背景となる文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌唱・鑑賞)</p>
1時	<b>知</b> ① 観察・記述		↓
2時			
3時	<b>技</b> 観察・記述	<b>思</b> ① 観察・記述	
4時	<b>知</b> ② 観察・記述	<b>思</b> ② 観察・記述	

実践事例として活用しやすいよう、「事例のポイント」を記載しているが、本来は評価項目となる箇所である。(P111 評価資料を参照)

7 指導と評価の計画 (全4時間)

時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動 T : 具体的な発問 S : 具体的な生徒の姿	○指導上の留意点	事例のポイント ◎留意事項
1	<p>◆声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。</p> <p>○長唄や下座音楽の役割を理解して、歌舞伎の音楽の特徴を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎「勸進帳」の概要を知り、ダイジェストを鑑賞する。</li> <li>・映像資料の視聴などを通して、長唄や下座音楽の役割・役者・演出や舞台の特徴について理解する。</li> <li>・長唄の役割とは何か、鑑賞したことを通して意見交換する。</li> </ul> <p>○長唄の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長唄①の教師の範唱を聴き、範唱に合わせてうたう。</li> <li>・長唄①の声の音色やうたい方、言葉の特性について気付いたことや感じ取ったことをワークシートにまとめる。</li> </ul> <p>・ICT端末を用いて、長唄①の範唱を指定のURL (QRコード) からアクセスして動画を視聴し、複数の奏者によるそれぞれの声の音色やうたい方、発声について気づいたことや感じたことをまとめ、意見交換する。</p> <p>T : 奏者のうたい方、声の音色、旋律の産字や唄い尻にはどのような特徴がありますか。</p> <p>S : 声の音色は地声で母音をはっきり強調していました。</p> <p>S : 旋律の動きが上にいたり下にいたり特徴的な動きをしていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換したことを踏まえ、長唄①を教師の範唱に合わせてうたう。</li> </ul>	<p>○歌舞伎について知っていることを共有し、江戸時代から今日まで歌舞伎が続いてきた理由について考えるようにする。</p> <p>○歌舞伎に関しての基本内容について、映像を視聴しながら理解できるようにする。</p> <p>○長唄のうたい方の特徴について、音色、旋律に注目させながら、どのようにうたえばよいか考えるようにする。</p> <p>○端末にそれぞれイヤホンを使用し、音色と旋律が奏者によってどのように表現されているか、一人一人確認できるようにする。</p> <p>※授業で扱った参考音源動画 QRコード</p>  <p>○複数の奏者によるそれぞれの発声について共通点や相違点、気づいたことや感じたこと意見交換し、学級で共有できるようにする。</p>	<p>ポイント① ◎声の音色、旋律、長唄にふさわしい発声について理解できるようにする。</p> <p>ポイント② ◎ICT端末を活用して、言葉の特性と曲種に応じた発声をそれぞれ確認し、感じ取ったことを意見交換する。</p>

<p>2</p>	<p>◆ 創意工夫を生かした表現でうたうために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>○ 長唄にふさわしい表現でうたうために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長唄①を教師の範唱に合わせてうたい、長唄の発声に関して前時で理解した内容について確認する。</li> <li>・ 長唄②の教師の範唱を聴き、範唱に合わせてうたう。</li> </ul> <p>T：前時で理解したことを踏まえて、声の音色、旋律の産字や唄い尻を意識しながらうたいましょう。</p> <p>S：ひとつひとつの言葉の母音をはっきり強調してうたうと、長唄らしい音色になります。</p> <p>S：唄い尻のところは、しっかりお腹で支えてうたうと旋律の動きがよく表現できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長唄②の音色やうたい方、言葉の特性について気付いたことや感じ取ったことをワークシートにまとめる。</li> <li>・ 長唄②の奏者の範唱を聴き、旋律の高低や産字、節尻などに着目して、発声について感じたことを意見交換し、学級で共有する。</li> </ul>	<p>○ 範唱を聴いたり実際にうたったりする活動を通して、気付いたことや感じ取ったことをまとめることができるようにする。</p> <p>○ 長唄②の範唱について指定のURL（QRコード）からアクセスできるようにし、範唱を繰り返し聴くことで、長唄にふさわしい声の出し方、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを試行錯誤しながら追究してうたうことができるようにする。</p>	<p><b>ポイント②</b></p> <p>◎ ICT 端末を活用して、言葉の特性と曲種に応じた発声をそれぞれ確認し、感じ取ったことを意見交換する。</p>
<p>3</p>	<p>◆ 音色、旋律を知覚・感受しながら、どのように曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>○ 長唄②について音色、旋律を知覚・感受しながら、曲にふさわしい歌唱表現についてどのように表すかについて思いや意図をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長唄①、長唄②を教師の範唱に合わせてうたい、前時まで学習した長唄の発声に関して理解した内容や長唄にふさわしい声の出し方について確認する。</li> <li>・ 音色、旋律（節回し）に注目しながら、長唄②の「逢坂の山かくす」の場面について、どのような感じがするか考え、意見交換する。</li> <li>・ 長唄②の「逢坂の山かくす」の場面をうたったり聴いたりしながら、どのように範唱のようにうたえばよいか考える。</li> </ul> <p>・ 映像で長唄②の「逢坂の山かくす」の場面を視聴し、長唄の音</p>	<p>○ 声に出して歌詞を読み、実際にうたったり聴いたりしながら、歌舞伎の場面や登場人物の心情をどのように表現しているか考えるようにする。</p> <p>○ 映像から感じ取った、長唄の音楽表現や登場人物の心情を踏ま</p>	

	<p>楽表現と歌舞伎の舞台の役者の演技を見ながら、「逢坂の山かくす」の場面にふさわしい歌唱表現について、どのような音色、旋律で表したいかについて考え思いや意図をもつ。</p> <p><b>T</b>：長唄の音楽表現や登場人物の心情から、音色や旋律の動きについて歌唱表現をするか、考えましょう。</p> <p><b>S</b>：義経や弁慶はどのような気持ちで関所まで来たんだろう。</p> <p><b>S</b>：長唄の産字や唄い尻もはっきり伝わってくるね。役者の動きとよくあっているよ。</p> <p><b>S</b>：この場面はどんな音色でうたったらいいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに学習した内容や本時で考えたことをふまえ、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫しながら長唄②をうたう。</li> <li>・長唄の音楽表現によって歌舞伎にどのようなよさ、魅力を与えているかについて考え、意見交換する。</li> </ul>	<p>えたうえで、どのような歌唱表現ができるか、音色、旋律を根拠にワークシートに書かせ、自分自身の表現に生かすことができるようにする。</p> <p>○考えた内容を基に学級で意見交換を行い、共有することで自分の歌唱表現を追究できるようにする。</p> <p>○第1時と比べ、実際に長唄をうたい、意見交換したことを踏まえて、考えるようにする。</p>	
<p><b>4 本 時</b></p>	<p>◆音色、旋律を知覚・感受しながら、曲想と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠及び生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○歌舞伎の背景にある文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、音楽の意味や役割について考え、実際に長唄をうたったことを踏まえ、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎「勸進帳」のダイジェストを視聴し、「詰め寄り」と「判官御手」の場面から登場人物の心情などを理解し、実際に長唄をうたったことを踏まえそれぞれの場面の音色や旋律を知覚・感受し感じ取ったことをワークシートにまとめる。</li> <li>・江戸時代の人々にとって、歌舞伎はどのようなものであったか考え、意見交換し共有する。</li> <li>・江戸時代から今日まで歌舞伎が続いてきた理由について考え、現代を生きる私たちにとって歌舞伎はどのような意味をもって存在しているのかについて考え、意見交換し共有する。</li> <li>・歌舞伎や長唄のよさや美しさ、自分にとっての価値について、本題材の学習を振り返りながらワークシートにまとめる。</li> </ul>	<p>○表現と鑑賞の関連の観点から、実際に歌唱表現したことを踏まえて、音色や旋律がどのように表現されているか考えることができるようにする。</p> <p>○既習教材「花」と歌舞伎「勸進帳」の誕生した時代を比較し（わずか60年ほど）その間に音楽がどのように変わっていったかについて考えるようにする。</p> <p>○本題材の学習を通して、歌舞伎や長唄の自分自身の価値がどのように変容したか、考えるようにする。</p>	<p><b>ポイント③</b></p> <p>◎表現で学習した内容を踏まえ、音楽を鑑賞できるようにする。</p> <p><b>ポイント④</b></p> <p>◎音楽的な見方・考え方を働かせ、歌舞伎という伝統芸能が自分にとってどのような価値があるか考える。</p>

編 P 88 指導計画作成の留意事項(2)(3)(4)

8 本時の学習指導（4 / 4 時）

(1) 目標

- ① 曲想と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。 <知識>
- ② 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠及び生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <思考力、判断力、表現力等>

(2) 展開

○学習内容 ・学習活動 T：具体的な発問 S：具体的な生徒の姿	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
○歌舞伎の背景にある文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、音楽の意味や役割について考え、実際に長唄をうたったことを踏まえ、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
<p><b>本時の目標</b> 歌舞伎の価値を考え、よさや美しさを味わおう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎「勸進帳」のダイジェストを視聴し、「詰め寄り」と「判官御手」の場面から登場人物の心情などを理解し、実際に長唄をうたったことを踏まえそれぞれの場面の音色や旋律を知覚・感受し感じ取ったことをワークシートにまとめる。</li> <li>・江戸時代の人々にとって、歌舞伎はどのようなものであったか考え、意見交換し共有する。</li> <li>T：江戸時代から今日まで続いている歌舞伎や下座音楽はなぜ現代まで続いているのでしょうか。</li> <li>S：歌舞伎って江戸時代の人々にとってどれくらい意味のあるものだったんだろう。</li> <li>S：当時の音楽や娯楽はどんなものがあったのか、歴史をインターネットで調べてみてほしいね。</li> <li>・江戸時代から今日まで歌舞伎が続いてきた理由について考え、現代を生きる私たちにとって歌舞伎はどのような意味をもって存在しているのかについて考え、意見交換し共有する。</li> <li>T：現代を生きる私たちにとって歌舞伎はどのような意味をもっているのだろうか。歌舞伎の音楽の特徴と関連させながら考えてみよう。</li> <li>S：「花」と歌舞伎「勸進帳」の誕生ってたった60年しか変わらないんだって。</li> <li>S：「花」を初めて聴いた当時の人々は、音楽の違いにすごく驚いたんじゃないかな。</li> <li>S：現代ではありとあらゆる音楽が気軽に聴けるのに、なんで今も歌舞伎は続いているのかな。</li> <li>・歌舞伎や長唄のよさや美しさ、自分にとっての価値について、本題材の学習を振り返りながらワークシートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現と鑑賞の関連の観点から、実際に歌唱表現したことを踏まえて、音色や旋律がどのように表現されているか考えることができるようにする。</li> <li>○既習教材「花」と歌舞伎「勸進帳」の誕生した時代を比較し（わずか60年ほど）その間に音楽がどのように変わっていったかについて考えるようにする。</li> <li>☆<b>知</b>②曲想と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 （観察・記述）</li> <li>○本題材の学習を通して、歌舞伎や長唄の自分自身の価値がどのように変容したか、考えるようにする。</li> <li>☆<b>思</b>②音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠及び生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 （観察・記述）</li> </ul>

## 9 ワークシート例（生徒の記述例）

### 本時の学習における「知識（鑑賞）」の評価例

#### ○主な学習活動

- ・ 勸進帳の「詰め寄り」と「判官御手」の場面の音色や旋律を知覚・感受し、本題材で長唄をうたったことを踏まえ、感じ取ったこと記述する。
- ・ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて、意見交換をしたり自分で考えたりしたことを踏まえて記述する。

#### ○評価規準

曲想と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。

#### ○評価方法及び「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント

<ワークシートの記述>

- ・ 勸進帳の「詰め寄り」と「判官御手」の場面の音色や旋律を知覚・感受し、音楽の特徴や感じ取ったことについておおむね妥当な内容が書けているか。
- ・ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて、おおむね妥当な内容が書けているか。

下記例の生徒は、「詰め寄り」と「判官御手」の場面の音色や旋律について、知覚・感受したことを踏まえて音楽の特徴や感じ取ったことを本題材の歌唱で学習したことを関連させながら書いている。また、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史を関わらせながら考えたことを書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況（B）と判断することができる。

<ワークシートの記述例>

- 1 歌舞伎「勸進帳」の2つの場面について、音楽の特徴（音色、旋律）がどのように表現されているか、これまで長唄をうたって学んだことや考えたことを踏まえ、感じ取ったことを書こう。

場面	長唄の音楽の特徴（音色、旋律）・感じ取ったこと
「詰め寄り」の場面 ♪金剛杖をおとって散々に打撃す～	はっきりとした動きの旋律で聴き取りやすかった。音色はなめらかで言葉の抑揚にあわせて力強さがよく表現されていた。長唄の学習でうたったときのように、息をたくさんつかって母音を強調しないと表現できないことだと思った。義経を守ろうとする気持ちがよく伝わってきました。

- 2 江戸時代から今日まで続いている歌舞伎。歌舞伎や下座音楽（歌舞伎の音楽）はなぜ現代まで続いているのだろう。また現代を生きる私たちにとって歌舞伎はどのような意味をもっているのだろう。歌舞伎の音楽の特徴と関連させて書こう。

長唄の産字や唄い尻に気持ちがこもっているからだと思う。私たちは昔の人たちの思いを引き継いで、今につなげていくことが大切だと思いました。



○「十分満足できる」状況（A）の例

下記例の生徒は、「詰め寄り」と「判官御手」の場面の音色や旋律について、知覚・感受したことを踏まえて音楽の特徴や感じ取ったことを、本題材の歌唱で学習したことを関連させながら、長唄をうたったからこそ新たに理解したことやそこから考えたことを詳細に書いている。また、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史を関わらせながら、本題材で学習したことを自分自身の思いと関連させ、根拠をもって考えたことを書いている。以上のことから「十分満足できる」状況（A）と判断した。

- 1 歌舞伎「勧進帳」の2つの場面について、音楽の特徴（音色、旋律）がどのように表現されているか、これまで長唄をうたって学んだことや考えたことを踏まえ、感じ取ったことを書こう。

場面	長唄の音楽の特徴（音色、旋律）・感じ取ったこと
「詰め寄り」の場面 ♪金剛杖をおとって散々に打撃す～	富樫に疑われて、必死に義経を守ろうとする弁慶の様子を、身体を使って堂々と声を張り上げて、力強い音色で歌っていた。自分で歌ってみてわかったが、長唄らしい力強い音色を出すためには、のどを開いて、口の中を開くことが大切だ。 <u>長唄の奏者は口こそあまり空いていないように見えるが、口の中をしっかりと開いて響かせており、唄い尻の最後までしっかりと歌いきっている様子がよく伝わってきた。</u>

音楽の特徴と関連させながら感じ取ったことを、本題材で学習したことと関連させるだけでなく、長唄をうたったからこそ新たに理解したことやそこから考えたことを詳細に書いていることから、Aと判断した。

- 2 江戸時代から今日まで続いている歌舞伎。歌舞伎や下座音楽（歌舞伎の音楽）はなぜ現代まで続いているのだろう。また現代を生きる私たちにとって歌舞伎はどのような意味をもっているのだろう。歌舞伎の音楽の特徴と関連させて書こう。

歌舞伎は「静」と「動」がはっきりしている音楽だと思う。特に「勧進帳」から「花」まで、たった60年しか経っていないのが驚いた。歌舞伎の音楽がもつ「静」の部分や荒々しい「動」の部分は、現代の日本人の心に入り、自分の感情を表現しているのだと思う。この感情の変化や、長唄の産字や唄い尻、間から生まれる「静」や「動」が、現代の日本人を今も惹きつけているのだと思う。私たちも日々の生活で間を大切にする文化があり、その文化を大切に生きています。歌舞伎が今も残り続けているのは、日本人が大切にしてきたことを今も守り続けているからだと思う。

音楽の特徴とその背景となる文化や歴史と関わらせながら考えたことを書くだけでなく、本題材で学習したことを自分自身の思いと関連させ、根拠をもって考えたことを書いていることから、Aと判断した。

○参考「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」の育成に向けて

本題材では、歌舞伎や長唄に対する感じ方や音楽に対する深まりについて、題材の学習を通してどのように変容したかについて、具体的に記述させている。三年生は修学旅行を通して、能楽体験など、我が国の様々な伝統文化を体験する。本題材を三年生で行うことによって、我が国の様々な伝統文化と、歌舞伎を関連させることによって我が国の伝統音楽に対する価値を深めていくことができる。また題材の終末で、「もし、歌舞伎や我が国の伝統音楽が失われたら、あなたはどのように思いますか。」という問いを与えることで、我が国の様々な伝統文化を継承・発展させることの重要性について、本題材で学んだことと関連させながら深く考えさせることができる。第三学年の義務教育最後の期間で学ぶ学習として、総合芸術がもつ音楽と他の芸術との融合による素晴らしさを実感させ、音楽と生涯にわたって親しんでいく態度を養っていくことが期待できる。